

■ 農村振興、生活改善の指導者

金 作之助

こん さくのすけ

出身地 北秋田市（旧森吉町）

1885年（明治18年）～1957年（昭和32年）

教職のかたわら夜学塾^{じゆく}を開設、農村青年教育^つに尽くす。のち、農民道場を開設、農村生活^{かいぜん}の改善に当たる。さらに政治家に転身、農村振興^{しんこう}・生活改善の事業^{おこ}を興す。金為助^{こんためすけ}の実兄。



年 譜

- 1885年 北秋田市（旧森吉町^{もりよし}）に生まれる。
- 1908年 秋田県師範学校卒業。阿仁合尋常高等小訓導^{あにあいじんじょう}。
- 1913年 至誠農業夜学塾^{しせい}開設。農村青年の教育^{じんりよく}に尽力。
- 1915年 真中尋常高等小学校訓導兼校長^{まなか}。
- 1927年 農民道場・瑞穂行学舎^{みずほ}を開設。
- 1928年 農村文化叢書^{そうしよ}『農民生活の新様式』を刊行。
- 1934年 米内沢町長^{よないざわ}。36年、県会議員。
- 1940年 体験記録『生命凝視総合教育論^{ぎょうし そうごう ろん}』を刊行。
- 1944年 『日本の農村』を刊行。
- 1957年 北秋田市（旧森吉町^{もりよし}）で没^{ぼつ}。71歳^{さい}。